

津田議員 それでは、通告に従い2点質問します。よろしくお願いします。まず一つ目の「徳島県民間建築物アスベスト調査・除去工事補助事業」の利用について伺います。優れた特性を持つ石綿は、20世紀後半に建材や摩擦材等に広く使われ、火災や事故等から人々を守る大きな役割を担ってきました。しかし、石綿を吸入した労働者や一般人の中に、長い潜伏期間を経た後、肺がんや中皮腫といった重篤な健康障害を起こす人々が多くみつき、現在では殆どの先進工業国で石綿の使用が禁止されています。日本においても、平成18年9月に石綿含有製品の製造等が禁止され、平成24年には適用除外製品も含めて全面使用禁止となりました。しかし、21世紀中頃までは石綿が使われている既存の建築物の解体が進むことから、石綿含有建築物の解体作業に従事する労働者について、石綿ばく露防止対策と一般環境への石綿飛散漏えいの防止対策が、極めて重要な喫緊の課題となっています。この問題への対策として、ここ最近では、大気汚染防止法が令和2年に改正され、令和3年4月1日より順次施行されてきました。これにより現在では、規制対象が全ての石綿含有建材に拡大され、資格者を持った人による事前調査と記録の保存が義務化されていまして、一定規模以上の建築物等については調査結果を都道府県等へ報告する必要があります。また、工事の際には厳重な飛散防止対策が定められていて、これらの違反者には懲役刑を含む罰則もあります。これらの規制によって現在では、建物の改修や解体にかかる費用が以前よりもかなり高くなっていて、事前調査にかかる費用は概ね5万円から50万円くらい、解体費用については建物の規模や具体的な飛散防止対策の内容によって大きく金額が変わってくるようです。例えば、私が今年、町内の方に伺った話では、約250万円の解体工事費の内、約25万円がアスベスト対策経費だったそうです。有資格者による事前調査の義務化は昨年の10月に施行ですし、まだ建物の改築や除却にそのような費用が追加でかかるようになっていることを知らない方も多いのではないかと思います。この点、国は、費用面の負担を軽減するために国土交通省が「住宅・建築物アスベスト改修事業」を創設しています。徳島県もこれを受けて「徳島県民間建築物アスベスト調査・除去工事補助事業」を実施しています。内容は、アスベスト含有調査についての補助額が1棟25万円で、県に問い合わせたところ、これは全額国の負担とのことでした。実際に阿波市では、10割補助の上限25万円となっていました。アスベスト除去工事については、補助対象費用の3分の1が自己負担となります。補助分の半分は国が負担し、その残りを県と町が半分ずつ負担しますので、町の負担は総額の6分の1となります。補助金の上限額は決まっていますが、徳島市の場合は上限200万円となっていました。また、この制度は内容を自治体に合わせて設計する裁量が大きく、自治体の予算支出が必要な除却工事

を対象から外して調査だけとしている自治体も多くありました。この補助金は、制度を設けた自治体だけでのみ利用できるものですが、徳島県内で利用できる自治体は本年4月1日時点で9自治体しかないようで、今は牟岐町でも利用できません。先日町内でお話を聞いた方は、すでに除却工事をしてしまったそうですが、このような補助金があれば是非使いたかったし、おそらくこれからも使いたい人は、たくさん出てくるだろうとおっしゃっていました。町内で建物除却時の費用負担で悩まれている方は多いのだと思います。是非、来年度に向けて、アスベスト対策補助事業を創設していただきたいと考えますが、お考えをお聞かせください。続いて、二つ目の「町内行事の重複回避策の検討」について伺います。牟岐町では、年間を通して、行政・民間を問わず、多くの方々が様々な場所で各種行事や催しを開催されています。たくさんの老若男女が集まって触れ合う機会は、牟岐町のにぎわい創出に重要な役割を担っているように思います。しかし、長期間の準備を経てせっかく開催した行事や催しも、町内の他の行事と日程が重なってしまうと、人が分散してしまって、貴重な牟岐町の賑わいの効果が薄れてしまいます。特に、伝統ある各地域のお祭りと町の大きな行事が重なったりすると、お祭りに参加する人が減ってしまい、参加者の少ない寂しいものになってしまう可能性があります。これは、伝統文化を未来へつなぐことを阻害する要因にもなりかねません。全ての行事が重ならないように調整することは難しいかと思いますが、人口数万人の自治体と違って、現在の牟岐町くらいの規模であれば、ある程度の調整をすることはできるのではないかと思いますし、それができるのは数千人規模の自治体の強みでもあると思います。現状では、町民が何か行事や催しの日程を決める際に、行政でその日何か行う予定があるのかを確認する方法がなく、行政も町民も、特に他の行事を意識せずに日程を決めてしまい、後から重なっていることが分かるという状態なのではないかと懸念しています。そこで、①町民と行政が町内行事の予定を共有して連携し、日程が重ならないように調整できるようなシステムを作ることを検討してみてはいかがでしょうか。次に、②これが難しい場合、せめて、お祭りなど地域の重要な伝統行事や恒例行事と町の行事が重ならないように工夫することはできないでしょうか。是非検討していただきたいと思います。お考えをお聞かせください。

喜田議長 枳富町長。

(枳富町長 登壇)

杣富町長 津田議員ご質問の徳島県民間建築物アスベスト調査・除却工事補助金の利用についてお答えします。徳島県民間建築物アスベスト調査・除却工事補助事業は、民間建築物の吹き付けアスベスト等の含有調査及び除去を促進することを目的としています。この事業により、建築物の劣化等に伴って、アスベストが周囲に飛散することを防止し、火災や震災時等の消防活動や調査活動等に従事する者の安全を確保します。この制度は、アスベストを含む建材が使用されている民間の建築物に対して、調査や除却工事を行う際の費用を負担するものです。県内で補助制度がある自治体は、調査のみを行う3市2町、調査・除去を行う3市1町があります。補助金の対象となる吹き付け材は、吹き付けアスベストやアスベスト含有吹き付けロックウールなどです。主に3階建て以上の鉄骨造建築物の柱や梁、エレベーター周り、ビルの機械室、ボイラー室、立体駐車場の天井や壁で使用されています。表面は綿状で柔らかく深さが数センチ程度あるのが特徴で、アスベストの濃度が非常に高く、撤去の際には大量の粉塵が飛散するため、最も危険性の高いレベル1の発じん性が著しく高い吹付が対象となる補助金制度です。なお、これらの材料は、一般的な住宅の建材としては、ほとんど利用されていません。このことから、牟岐町では、補助事業の予定はありません。次に、町内行事の重複回避策の検討についてお答えします。現在、牟岐町においては、毎月、各課の行事予定を集約し、牟岐町ホームページや、牟岐町LINEに各課の開催行事予定が閲覧できる状態です。今後は、個人的なイベントや有志によるイベントについては、なかなか困難なことではありますが、住民と行政の情報連携というのは、本当にこれからの牟岐町を良くしていく上で大事なことだと思いますので、これからしっかり研究していきたいと思います。比較的イベントの多い教育委員会、産業課、牟岐町観光協会の主な開催イベントとしまして、共楽運動会、文化祭、二十歳の集い、新春婦人の集い、マリンフェスティバル、あじさい祭り、姫神祭り、阿波踊り競演会、にぎわい産業祭、牟岐町観光磯釣大会等があります。ある程度、町民の皆さんなどに開催時期が認知されているイベントだとは思いますが、毎年、11月に開催されている、にぎわい産業祭については、他の恒例行事と開催時期が重なる場合は、開催時期を変更するなど、にぎわいの効果が最大限発揮できるように、イベント主催者等と協議してまいります。また、毎年行われなような突発的なイベントもありますので、地域の年間行事予定等が決定した時点でお知らせいただければ、できる限り重複しないよう努めてまいります。以上です。よろしくお願いします。

喜田議長 津田議員。

津田議員 1点、再問をさせていただきます。アスベストの調査・除却工事補助事業についてですけど、対象がレベル1のアスベストのみになっているので、現在のところ補助金制度を作る予定はないということだったのですが、国の補助制度自体には、レベル2、レベル3も入っていきまして、レベル1になっているというのは、徳島県がそのようにしているということだと思います。ですので、是非そこは徳島県の方に制度の拡充を求める動きをしていただきたいと思います。あとレベル1の吹き付けアスベストに関しては、ほぼ住宅等で使われている可能性がないということでしたけど、牟岐町の方では、町内アスベストを使用している建物等について、何か把握をされているのでしょうか。ご回答をお願いします。

喜田議長 木田建設課長。

木田建設課長 町内のアスベストの使用状況ですが、把握の方はできていません。

喜田議長 津田議員。

津田議員 ありがとうございます。今回、意見書をあげ議論する予定のアスベスト対策のものにおきましても、やはりアスベストを使用している建物をまず把握することが大事ですと、国の方でしっかりと状況を把握をする政策を進めてほしいという内容が入っています。こちらについては、町の方でも、是非アスベストを使っている建物がどの程度あるのかという調査、難しいとは思いますが、是非進めていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。あと、2点目の質問の町内行事の重複回避についてですけど、これから、今後については、各団体と協議をしていただけるということで、是非よろしくお願いします。特に11月のお祭りの季節、行事が重なってしまうと、大変悲しむ方々が多くなりますので、注意をしていただきたいと思います。これからの町の行事をある程度まとめて把握して対応されるということなのですが、なかなか町民の方からそれを役場に伝えることは難しいところもあるのかと思いますので、是非町の方から積極的に町の予定は、決めるときに、こういう日程で決めようと思っているけど、地元で例年の祭り等の行事はどうなっているということを問い合わせるように進めていただきたいと思います。よろしくお願いします。ありがとうございました。